



海と文化の交差点・共創のまち浜田

広報
はまだ

はまだ

2005

9/30日号

No. 1389

編集・発行 浜田市総務課 ☎0855-22-2612

<http://www.city.hamada.shimane.jp>

E-mail: info@city.hamada.shimane.jp

〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地



9月3日(土) 石央文化ホールにおいて、浜田市閉幕式が行われました。昭和15年の市制施行から65年を経て、10月1日(土)から那賀郡4町村と合併し、新・浜田市として生まれ変わります。

主な内容

- ◇浜田市閉幕式開催…………… 2～6
- ◇浜田市のあゆみ…………… 2～24
- ◇「社会を明るくする運動」標語入選作品 …… 7
- ◇人事行政運営等の状況報告…………… 8～9
- ◇子育て&健康ひろば…………… 16～19

浜田市市民憲章

昭和五十五年十一月三日制定

- わたくしたちは 日本海の美しい自然と
温かい人情を誇る浜田市民です
明るい豊かな浜田をつくるために この
憲章を定め力をあわせて進みます
- 一 きまじを守り よい習慣を育て
きれいな住みよいまちをつくります
 - 一 働く喜びをもち 産業をおこし
豊かなまちをつくります
 - 一 からだを鍛え 健康で
平和な家庭をつくります
 - 一 教養を高め 若い力を伸ばし
清潔で活力あるまちをつくります
 - 一 老人をつやまい ことも大切にし
明るい社会をつくります

浜田市閉幕式開催

浜田市では、去る9月3日(土)に石中央文化ホールにおいて『浜田市閉幕式』を開催しました。ご多忙中にもかかわらず、多くの市民の皆様にご出席いただき誠にありがとうございました。



9月3日(土) 閉幕式で万歳をする参加者の皆さん

閉幕式では、約8000人の市民が出席し、浜田市の65年の歴史を振り返るとともに、合併により10月1日に誕生する新『浜田市』への期待を新たにしました。

また、式の中で、各分野において市の発展と振興に貢献された個人や団体の永年の尽力に感謝の意を表するため、浜田市特別表彰、浜田市表彰と浜田市市民憲章表彰を行いました。

式辞

本日、浜田市閉幕式を挙行いたしましたところ、ご来賓、市民の皆さまには、公私ともにご多忙のところ、多数ご臨席を賜りまして、誠にありがとうございました。お礼申し上げます。

さて、私たちのふるさと「浜田市」は、昭和15年11月3日に誕生しましたが、9月30日をもって65年の歴史に幕を閉じることになりました。そして、本市、金城町、旭町、弥栄村、三隅町の1市3町1村による合併

をもって、10月1日に「新・浜田市」が誕生する運びとなっております。

浜田市は、古く石見の国の国府や国分寺などが置かれ、万葉の歌人柿本人麻呂も石見国府の役人として赴任したと伝えられております。

江戸時代には、浜田藩の城下町として、また、北前船の寄港地として賑わい、明治時代の初期は浜田県が置かれたこともあり、以後、島根県西部の行政・経済・教育・文化の中心として栄えてまいりました。

浜田市誌によりますと、昭和12年7月、満州事変が勃発し、こうした時局の中、浜田町を中心に、町村合併して市制を施行してはこの議論が持ち上がりました。賛否両論の議論がありました。昭和14年6月1日、東久邇宮殿下が浜田陸軍病院を慰問のためお越しになり、城山から市街を展望されたとき、「全国をみわたすに、連隊のあるところでは市制が施されていないところはあまりない。浜田町も早く市制を施行したらどうか」とのお言葉があり、関係の町村にお

浜田市のあゆみ

- 1940 昭和15年
- 11・3 浜田町と石見村、長浜村、周布村、美川村の1町4村が合併し、松江市に次いで県下で2番目の市制施行
- 12・10 第1回市議会議員選挙
- 12・21 初市議会で俵三九郎氏を議長に選任
市章を議決



昭和14～15年頃の浜田市駅前

- 1941 昭和16年
- 11・1 初代市長に山崎義一氏就任
- 3・1 小学校令の改正で国民学校となる。
- 10・5 浜田く長浜間の海岸道路起工

いてそれぞれ統合を積極的に考えるようになった、と記されています。

そして、昭和15年11月3日、浜田町、石見村、長浜村、周布村、美川村の5町村の合併により県下2番目に市制を施行し、浜田市が誕生しました。その後昭和30年に大麻村と井野村の一部を、昭和33年には金城町の佐野・宇津井地区を編入し、更に昭和44年には国府町と合併し、現在の市域となり今日に至っているところでもあります。

市制施行以来、65年を顧みますと、戦中、戦後の混乱期における市民生活の安定、そして幾たびもの水害からの復興、更には厳しい財政運営など、多くの困難を乗り越え着実にまちづくりを進めてこられた歴代の市長、議長、議員の皆さんをはじめ、関係者の皆さまのこれまでのご労苦に対しまして、改めて深甚なる敬意と感謝の意を表する次第であります。

また、本日の式典において、永年にわたりそれぞれの分野で市勢の発展に寄与され、浜田市特別表彰、浜田市表彰、浜田市市民憲章表彰を受賞されます皆さまに対しまして、改めて心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。次第であります。

さて、初代市長には山崎義一

氏が昭和16年1月11日に就任され、浜田商港修築第1期工事、浜田〜長浜間海岸道路などに着手され浜田市の礎を築かれましたが、志半ばで急逝され、昭和18年7月に俵三九郎氏が第2代市長に就任されました。昭和21年6月、岡本俊人氏が第3代市長に就任され、そして昭和22年4月、初めての公選による市長選挙で岡本俊人氏が第4代市長に就任されました。戦中、戦後の混沌とした時代に市民生活の安定と復興、浜田市の発展に尽力されました。

昭和30年4月には小川孝祐氏が6代市長に就任され、財政再建や浜田港の重要港湾指定、集中豪雨という言葉が生まれた33年災害の復興、浜田ダム竣工、浜田市民会館の建設などに尽力されました。

昭和38年4月には、俵三九郎氏が第8代市長として再び市長に就任され、国道9号改修事業、県立浜田商業高等学校開校、石見小学校移転新築、学校給食センター建設などに尽力されました。

昭和42年4月には宇津重明氏が第9代市長に就任され、国府町との合併、浜田漁港特定第3種漁港指定、上水道第3期拡張事

業着手、市立図書館移転新築、道分山開発、第2中学校移転新築などに尽力されました。

昭和47年4月には、第11代市長に梨田精氏が就任され、47年、58年の2度の災害の復興、県立体育館完成、第37回国民体育大会秋季大会の開催、浜田商港の整備、浜田浄苑・清掃第1・2処理場の完成、第一中学校新築、市役所新庁舎竣工などに尽力されました。

昭和59年には第14代市長に大谷久満氏が就任され、浜田駅前西部土地区画整理事業着工、防災無線開局、63年災害の復旧、中国横断自動車道広島浜田線全線開通、県立国際短期大学開学、国道9号バイパス浜田道路開通、石史文化ホール開館、世界



△昭和39年 完成当時の浜田市民会館

オートキャンプ大会開催、周布小学校・三階小学校・第三中学校竣工、中国石嘴山市、栄成市との友好都市協定締結などに尽力されました。

平成8年4月からは、私が市政を担当することとなり、「和の政治」と「市民のための市政」を基本として諸施策を展開してきたところです。

この間、平成10年度には、国府中学校と有福中学校を統合した浜田東中学校が完成し、国民宿舎「千畳苑」を改築いたしました。平成11年度には、開港百周年を迎えた重要港湾浜田港に暫定3万トンバースが完成し、平成12年度には浜田港と韓国釜山を結び国際定期コンテナ航路を開設いたしました。

平成12年度には、島根県立大学が開学し第1期生が入学し、平成15年度には大学院も開学いたしました。

平成15年度には、水道未普及地区の後野・佐野・宇津井地区へ給水開始し、大見ダムが竣工いたしました。また10月には、天皇皇后両陛下をお迎えして、第23回全国豊かな海づくり大会を開催いたしました。

平成16年度には、4月に浜田・三隅道路の事業着手、11月には地域を挙げて要望してまいりました「浜田医療センター移転新

- 1942 昭和17年
- 5・23 商港修築5カ年計画の決定から商港修築第1期工事起工
- 7・1 那賀地方事務所開所
- 1943 昭和18年
- 5・11 初代市長山崎義一氏急逝、市葬執行
- 7・16 2代目市長に俵三九郎氏就任
- 9・20 台風によって大風水害を被る。当日の雨量341ミリ、浜田川、周布川の堤防が欠壊。死者、行方不明者27人
- 1944 昭和19年
- 9・17 前年に続き、暴風雨の被害を受ける。
- 12・1 浜田保健所が開設
- 1945 昭和20年
- 3・ 長浜港臨港線ほぼ完成、陸軍砲部隊が来港、使用開始
- 11・6 米軍約200人が浜田市へ進駐
- 12・1 陸軍衛戍病院が国立病院として開院
- 1946 昭和21年
- 1・ 浜田商工会館を市役所本館として借り受け、使用開始
- 6・6 市議会で3代目市長に岡本俊人氏選任
- 10・ 浜田商工会議所開所
- 11・2 浜田市選挙管理委員会を設置
- 12・ 県立水産講習所開設
- 12・20 浜田市農地委員会設置、農地改革に当たる

築」について駅北地区への整備が決定いたしました。同じく11月に美川地区農業集落排水施設美川浄化センターが供用開始となり、本年3月には、原井小学校が竣工し、歴史ある木造校舎に別れを告げ、新学期から新しい校舎での授業がスタートいたしました。4月には、公共下水道国府浄化センターが供用開始となったところであります。

こうして市制施行以来、幾多の先人の努力と英断により様々なプロジェクトが開き、21世紀に向けて浜田市の安定と発展への基盤が整ったところであります。

一方、浜田市が生んだ人物に目を向けますと、文化勲章の受章者として、鉄鋼の研究、組織鑑定分野に新領域を開き、日本鉄鋼業繁栄の基礎を築かれた治金学者の俄國一博士と、戦前、戦後と2度にわたり法隆寺壁画模写に従事し、その後、帝展、日展などに名作を相次いで発表し、東洋画の伝統的な線を生かした橋本様式と呼ばれる独自の芸術を確立されました日本画家の橋本明治画伯のお二人を輩出しております。

浜田市は、来る10月1日に「新・浜田市」として新たにスタートいたします。「青い海・緑の大地 人が輝き文化のがある



県立大学周辺の写真

まち」を、新市まちづくりの理念として、新市建設計画によって新たなまちづくりが進められることとなります。

これまで先人のたゆまぬ努力によつて築いてこられた礎を糧として、市民の皆さんの英知を集集し、新市のまちづくりにまい進する必要があります。合併により市域が拡大し、海浜部と山間部、都市部と農村部とが一体となつて発展するよう市民皆で支えていかなければなりません。

終わりに、今日まで市勢発展にご尽力、ご支援をいただきま

した多くの皆さまに對しまして、重ねて深甚なる敬意と感謝の意を表しますとともに、本日もご臨席賜りました皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念いたしました。式辞といたします。

平成17年9月3日

浜田市長

宇津徹男

浜田市特別表彰

《地方自治功勞》

- 牛尾 公介 (84歳・内村町)
- 佐々木哲郎 (80歳・津摩町)
- 神田 武子 (94歳・大辻町)
- 森福 忠友 (91歳・高田町)
- 才下 茂雄 (81歳・熱田町)
- 梨田 武史 (79歳・浅井町)
- 藏本 武司 (77歳・殿町)
- 徳原 繁一 (51歳・松原町)
- 江口 修吾 (57歳・長沢町)
- 小池 史朗 (76歳・熱田町)
- 向 悖雄 (70歳・津摩町)
- 山本 富彦 (69歳・黒川町)
- 佐々木喜久 (69歳・鍋石町)
- 濱松 三男 (67歳・国分町)
- 下隅 義征 (65歳・河内町)
- 片山 勲 (64歳・松原町)
- 牛尾 博美 (59歳・松原町)
- 江角 敏和 (48歳・熱田町)
- 川神 裕司 (48歳・長沢町)

- 大谷 坦 (80歳・長沢町)
- 濱崎 松重 (78歳・下府町)
- 塙 亮 (82歳・殿町)
- 小川 信之 (80歳・野原町)
- 木村 巖 (88歳・内田町)
- 栗山 定道 (77歳・井野町)
- 澤野 久芳 (75歳・西村町)
- 梨田 眞人 (88歳・浅井町)
- 新井 義弘 (84歳・瀬戸ヶ島町)
- 長谷川勝宣 (72歳・後野町)
- 原田 勝弘 (76歳・長沢町)
- 東 早子 (92歳・長沢町)
- 日高 喜應 (100歳・杉戸町)
- 萬燈 末達 (86歳・浅井町)
- 内藤 盛榮 (80歳・内村町)
- 江後 卓藏 (74歳・周布町)
- 河野 裕繁 (80歳・長浜町)
- 船津 善八 (72歳・原井町)

《民生事業功勞》

- 岡田 繁 (70歳・港町)
- 山崎 壽松 (66歳・日脚町)
- 半田 淨 (76歳・殿町)
- 森福 直 (68歳・黒川町)
- 瀬山力子 (73歳・浅井町)
- 土井 博 (84歳・田町)
- 室崎 富恵 (70歳・栄町)
- 遠藤 公輝 (64歳・田町)
- 又村 清美 (78歳・長浜町)
- 南 久光 (77歳・黒川町)
- 舟木 昌治 (69歳・朝日町)

《農林水産業功勞》

- 後山 實 (79歳・三階町)
- 佐々木正好 (75歳・宇野町)
- 岩井 恒雄 (75歳・横山町)
- 佐々木 博 (81歳・下有福町)

- 1947 昭和22年
- 4・1 学制改革で6・3制となり、市内に5つの新制中学校を設置
- 4・5 初の首長選挙が行われ、4代目市長に岡本俊人氏が当選
- 4・30 戦後初の市議会議員選挙が行われ議員30人選出
- 8・9 市消防本部設置
- 8・31 進駐軍が浜田市から引き揚げる
- 11・30 天皇陛下、当地方に行幸
- 1948 昭和23年
- 3・7 市警察設置、署長に難波泰一氏就任
- 4 学制改革で市立実践女学校は市立家政高等学校、県立浜田中学校は第1高等学校、県立浜田女学校は第2高等学校にそれぞれ改称
- 5・1 浜田海上保安部設置
- 5・10 県立浜田水産高等学校開校
- 7・20 消防組織法の施行から市消防団発足。団員271人
- 8・1 市立いずみ保育園開設
- 9・18 市立養老院設置
- 9・25 浜田市民歌制定
- 11・5 市設野球場完成
- 1949 昭和24年
- 1・1 市国民健康保険発足
- 3 浜田漁業用無線局開局
- 4・1 浜田児童相談所設置(菊水公会堂内)